

土岐市

男女共同参画に関する市民意識調査

ご協力についてのお願い

日ごろから、市政のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

土岐市では、平成 26 年に策定した「第 2 次土岐市男女共同参画プラン」を見直し、次期プランの策定を予定しています。

このたび、プランの策定にあたって、土岐市における男女共同参画に関する意識・実態把握のための「市民意識調査」を実施することになりました。

調査にあたっては、18 歳以上の市民の方 2,000 人を無作為で抽出いたしました。

調査は無記名で、お答えいただいた結果は統計的に処理し、上記の目的のみに使用するものであり、他の目的には決して使用しません。安心してお答えください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 9 月

土岐市長 加藤 淳司

調査票にご記入いただくうえでのご注意

- 令和 4 年 9 月 1 日時点の内容でご記入ください。
- 回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。
- ご記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
- 回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
また、記述を必要とする箇所はご記入ください。
- インターネットでご回答いただくことも可能です。
QRコードからWebサイトにアクセスし、説明にそってご回答ください。
インターネットでご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。
- ご記入後は、同封の返信用封筒に入れ、差出人は空欄のまま、9月26日（月）までにご返送ください。（切手は不要です）

<回答サイトのQRコード>



ご協力
お願いします



<お問い合わせ>

〒509-5192 岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2101
土岐市役所 地域振興部 まちづくり推進課
電話：0572-54-1111（内線 311） FAX：0572-55-7763
電子メール：machisui@city.toki.lg.jp



男女共同参画ってどうして必要なの？

男女共同参画が推進されることで、「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担にとらわれず、男性も女性も、意志に応じて、あらゆる分野で活躍できるようになります。男女共同参画社会が実現することは、一人ひとりの豊かな人生につながるのです。

家庭では…

- 家族を構成する個人が、互いに協力し合うことによって、家族のパートナーシップが強化されます。
- 仕事と家庭を両立できる環境が整い、男性の家事への参画が進むことによって、子育てや教育、介護を協力して行うことができます。

職場では…

- 女性の政策・方針決定過程への参画が進み、多様な人材が活躍することによって、経済活動の創造性が増し、生産性が向上します。
- 働き方の多様化が進み、誰もが働きやすい職場環境が確保されることによって、個人の能力が最大限に発揮されます。

地域では…

- 誰もが主体的に地域活動やボランティア活動に参画することによって、地域が元気になります。
- 地域の活性化や生活環境の改善、子どもたちが伸びやかに育つ環境が実現します。

一人ひとりの豊かな人生の実現

ここから調査がはじまります。



あなた（回答者）のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別をお聞かせください。（○は1つ）※ご自身が認識する性でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. () |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は次のどれですか。（○は1つ）

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

問3 あなたのお住いの地区をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 土岐津 | 2. 下石 | 3. 妻木 | 4. 鶴里 |
| 5. 曾木 | 6. 駄知 | 7. 肥田 | 8. 泉 |

問4 あなたは現在、主にどのようなお仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 会社員(公務員・教員を含む) | 2. 自営業 |
| 3. アルバイト・パート・内職 | 4. 派遣・契約社員 |
| 5. 学生 | 6. 専業主婦(夫) |
| 7. 求職中 | 8. 無職(年金生活者を含む) |
| 9. その他() | |

問5 あなたの家族構成(同居している家族)は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1. 1人世帯(単身世帯) | 2. 夫婦だけ(1世代) | 3. 親と子(2世代) |
| 4. 親と子と孫(3世代) | 5. その他の世帯() | |

問6 あなたは結婚されていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|-----------------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚(事実婚を含む) | 3. その他(離別、死別など) |
|-------|---------------|-----------------|

<問6で「2. 既婚(事実婚を含む)」と答えた方にお伺いします>

問7 配偶者・パートナーの方は現在、主にどのようなお仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 会社員(公務員・教員を含む) | 2. 自営業 |
| 3. アルバイト・パート・内職 | 4. 派遣・契約社員 |
| 5. 学生 | 6. 専業主婦(夫) |
| 7. 求職中 | 8. 無職(年金生活者を含む) |
| 9. その他() | |

問8 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。また、お子さんがいる方は、何人ですか。(○は1つ、数字を記入)

- | | |
|-----------|--------|
| 1. いる()人 | 2. いない |
|-----------|--------|

<問8で「1. いる」と答えた方にお伺いします>

問9 一番下のお子さんについてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. 3歳未満 | 2. 3歳以上の未就学児 | 3. 小学校1～3年生 |
| 4. 小学校4～6年生 | 5. 中学生以上18歳未満 | 6. 18歳以上 |

問 13 あなた自身の状況について、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛期間などにおいて、次のような変化がありましたか。(○はいくつでも)

1. 家族と一緒に過ごす時間が増えた
2. 在宅勤務などにより家事負担が増えた
3. 学校が休みになり育児負担が増えた
4. 家庭内の衝突が増えた
5. 収入が減ったことにより生活が厳しくなった
6. 解雇（雇止め含む）を言い渡された
7. 外出できないことでストレスがたまった
8. 友人等と会えずにコミュニケーションが不足してストレスがたまった
9. 体調や健康に関する不安が大きくなった
10. その他（)
11. 特になし

地域生活についてお聞きします。

問 14 あなた自身の地域・個人の生活についてお答えください。(○は各項目1つずつ)

	現在、参加している、 または、参加した ことがある	現在、参加していないが、 今後参加したい	現在、参加しておらず、 今後参加する つもりはない
A 町内会や自治会の活動	1	2	3
B 子ども会やPTAなどの青少年育成活動	1	2	3
C ボランティア活動（福祉や環境保全等）	1	2	3
D 趣味（スポーツ、娯楽等）の活動	1	2	3
E 市民講座、教養講座などの受講	1	2	3
F その他（)	1	2	3

問 15 あなたが住んでいる地域では、地域活動の役割分担はどのようになっていますか。(○は各項目1つずつ)

	主に女性が 担当	女性が 多いが 男性も 分担	女性と男性が 同程度	男性が 多いが 女性も 分担	主に男性が 担当	わからない
A 会長などの役職	1	2	3	4	5	6
B 催物の企画・決定	1	2	3	4	5	6
C 会議・集会などの運営・取仕切り	1	2	3	4	5	6
D 集会などでのお茶くみ・調理	1	2	3	4	5	6

問 16 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合になるような取組みを進めること
6. その他 ()
7. 特に必要なことはない
8. わからない

問 17 あなたは、男性と女性がともに自主防災組織に関わるにはどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女両方が担う
2. 自主防災組織の業務の分担を決める時、男女の役割を固定的に考えないようにする
3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障がいの有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで体制や対応を決めておく
4. 日ごろの近所づきあいで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくる
5. 女性や、乳幼児などが必要とする物資を、災害に備えて地域でも備蓄をしておく
6. その他 ()
7. わからない

就労・働き方についてお聞きします。

問 18 あなたが仕事を選ぶ際に重視すること、または重視したいことは何ですか。(〇はいくつでも)
※仕事をしていない方も、仕事をするを仮定してお答えください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 専門知識が活かせる | 2. 性格・能力が適している |
| 3. 仕事にやりがいがある | 4. 能力本位で実績が評価される |
| 5. 業種に将来性がある | 6. 給料の条件が良い |
| 7. 勤務時間・勤務場所の条件が良い | 8. 職場の雰囲気が良い |
| 9. 育児や介護への理解や制度が整っている | 10. その他 () |
| 11. 特にない | 12. わからない |

問 19 あなたは、管理・監督職になりたいと思いますか。(〇は1つ)
※仕事をしていない方も、仕事をしているを仮定してお答えください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. なりたい (またはすでに管理職である) | 2. どちらかといえばなりたい |
| 3. どちらかといえばなりたくない | 4. なりたくない |
| 5. わからない | |

<問 19 で「1. なりたい (またはすでに管理職である)」「2. どちらかといえばなりたい」と答えた方にお伺いします>

問 20 その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 責任を持った仕事がしたい | 2. 能力やスキルを思う存分活かしたい |
| 3. 仕事を通じて、社会に貢献したい | 4. 収入を上げたい |
| 5. その他 () | |

<問 19 で「3. どちらかといえばなりたくない」「4. なりたくない」と答えた方にお伺いします>

問 21 その理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 責任が重くなるのが嫌だから
2. 時間外労働が増えるから
3. 自分の能力に自信がないから
4. いつまでもこの会社で働き続けるつもりがないから
5. 同僚からねたまれるのが嫌だから
6. 仕事と家庭・地域活動の両立が困難だから
7. 今のままで不満はないから
8. 周囲にモデルとなる管理職がおらず、イメージが湧かないから
9. メリットがないから
10. その他 ()

問 22 一般的に女性が職業（仕事）に就くことについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 女性は職業（仕事）に就かない方がよい
2. 結婚するまでは職業（仕事）に就く方がよい
3. 子どもができるまでは、職業（仕事）に就く方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業（仕事）に就き続ける方がよい
5. 子どもができたら職業（仕事）をやめ、大きくなったら再び職業（仕事）に就く方がよい
6. その他 ()
7. わからない

問 23 女性が働き続けるために必要なことは何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 保育所や学童保育など、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 子どもの頃からのライフプラン教育
8. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
9. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
10. 雇用形態に関係なく同じ職務であれば同じ給料を支払う制度の導入
11. 短時間勤務制度やテレワーク等、多様で柔軟な働き方の導入
12. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
13. その他 ()

<仕事をしている方にお伺いします>

問 24 あなたの職場では、性別による不平等な扱いがありますか。(○はいくつでも)

1. 募集や採用人数が不利である
2. 性別によって配置に偏りがある
3. 昇進・昇格が遅い、または望めない
4. 賃金・昇給の差がある
5. 社内研修、教育訓練を受ける機会が少ない
6. 定年の年齢に男女差がある(慣行を含む)
7. 結婚退職制、職場結婚退職制がある(慣行を含む)
8. 出産退職制がある(慣行を含む)
9. 残業の時間に性別で差がある
10. 仕事と家庭が両立できる制度が整備されていない
11. お茶くみなどの雑用を行う社員の性別に偏りがある
12. その他 ()
13. 特に男女に不平等はない

問 25 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」ということばを知っていますか。(○は1つ)

1. ことばの内容を理解している
2. ことばは聞いたことがある
3. まったく知らない

👉ワーク・ライフ・バランスとは？

仕事と生活の調和を図ることをワーク・ライフ・バランスと言います。厚生労働省は、ワーク・ライフ・バランスが実現した社会は、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいて、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義づけています。

主に、長時間労働の削減や多様で柔軟な働き方、男性の子育てへの参加、介護休業・休暇の取得促進、女性の就業継続に向けた人材育成などがあります。

問 26 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、優先させたいものの希望と現実を教えてください。(○は各項目いくつでも)

※「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動、学習、趣味、付き合いなどを指しています。

	仕事	家庭生活	の地域・個人の生活	わからない
A 優先したいもの(希望)	1	2	3	4
B 優先しているもの(現実)	1	2	3	4

DV（ドメスティック・バイオレンス）、ハラスメントについてお聞きします。

問 27 あなたは、DVについて知っていますか。(○は各項目1つずつ)

	知っている ことばも内容も	知らない ことばは知って いるが内容は 知らない	知らない ことばも内容も
A デートDV（結婚していない恋人間等でおきるDV）	1	2	3
B 身体的DV（なぐる、ける 等）	1	2	3
C 精神的DV（おどす、ののしる、無視する 等）	1	2	3
D 性的DV（性行為の強要、避妊に協力しない 等）	1	2	3
E 経済的DV（生活費を渡さない、借金を重ねる 等）	1	2	3
F 社会的DV（友人と会うことや実家などへの外出を制限する 等）	1	2	3

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは？

夫婦間・パートナー間の暴力をDV(ドメスティック・バイオレンス)と言います。結婚しているかどうかは問いません。身体的暴力に限らず、精神的、経済的、性的などあらゆる形の暴力が含まれます。

DV の多くは家庭内で起こる暴力のため、家庭内の問題、夫婦間の問題として見過ごされ、表面化しにくい実態があります。

問 28 あなたは、DVに関して、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 何らかの暴力をしたことがある
2. 何らかの暴力を受けたことがある
3. 身近な人から相談を受けたことがある
4. DVの現場を見たことがある
5. テレビや新聞で社会問題になっていることを知っている
6. DVが人権侵害であることを知っている
7. その他 ()

<問 28 で「2. 何らかの暴力を受けたことがある」と答えた方にお伺いします>

問 29 あなたは、どこかに相談しましたか。(○は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 相談した | 2. 相談しなかった |
|---------|------------|

<問 29 で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします>

問 30 あなたは、どちらに相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. 家族 | 2. 友人 | 3. 知人 |
| 4. 警察 | 5. 市役所 | 6. 県相談所 |
| 7. 医療機関 | 8. その他 () | |

問 31 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 32 あなたは、DVを防止するために何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 法律・制度の面で見直しを行う(罰則の強化など) |
| 2. DVの取り締まりを強化する |
| 3. 捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害者が届けやすいようにする |
| 4. メディア(放送、出版、新聞など)を活用して、広報・啓発活動を積極的に行う |
| 5. 被害者のための相談窓口や保護施設を整備する |
| 6. 家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる |
| 7. 加害者に対するカウンセリングや更生を促すプログラムを実施する |
| 8. その他() |
| 9. わからない |

問 33 あなたは、ハラスメント※の防止のために、どのような対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 法律制度の強化 | 2. 相談機関の充実 |
| 3. 職場の雇用主等による積極的な防止対策 | 4. 被害者の加害者に対する毅然とした対応 |
| 5. ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実 | |
| 6. 被害者のためのカウンセリングの充実 | 7. 加害者に対するカウンセリングの実施 |
| 8. その他() | 9. わからない |

※ハラスメント

いろいろな場面での『嫌がらせ、いじめ』をハラスメントと言います。他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えることを指します。ハラスメントの中にはセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメントなどがあります。

性の多様性についてお聞きします。

問 34 あなたは、LGBT(性的マイノリティ)ということばを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. ことばの内容を理解している | 2. ことばは聞いたことがある |
| 3. まったく知らない | |

LGBT(性的マイノリティ)とは?

性別違和(「体の性」と「心の性」が一致しない状態)の人や、恋愛感情などの性的な意識が同性や両性に向かう人(同性愛、両性愛)、身体的な性別が不明瞭な人などのことを言います。性的マイノリティの方々の中には、日常生活で様々な精神的苦痛や孤独感をはじめとした、生きづらさを感じている方もいます。

性的少数者の総称の一つであるLGBTは、Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシャル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性的違和感を持つ方)の頭文字を取った言葉です。また、Queer(クエア)や Questioning(クエスチョニング)を加えた「LGBTQ」、恋愛感情や性的な感情を持たない人、自分の中に男性と女性がある人、いずれの性別も認識していない人などを加え「LGBTQ+」「LGBTs」という表現もあります。

問 35 あなたは、LGBT（性的マイノリティ）の人たちが暮らしやすい社会にするためには、どのような意識啓発や支援が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 市民に対する意識啓発を充実する
2. 幼少期から理解を促進する教育を推進する
3. 性的マイノリティの人が相談できる窓口の設置
4. 差別を禁止するための条例を制定する
5. パートナーシップ制度※を導入する
6. 行政において当事者の意見を聞く機会をつくる
7. 行政職員や教職員に対する研修を実施する
8. 性別の記載やトイレ等、男女で区別されている制度や慣行等の見直し
9. 特に必要なことはない
10. その他（)
11. わからない

※パートナーシップ制度

自治体が同性カップルにパートナーシップ証明書を発行する制度。この証明書は、事業所などに最大限の配慮を求めるもので、これまで対象外であったサービスなどを受けられるようにするための支援策です。

困難を抱える女性への支援についてお聞きします。

問 36 貧困やDV、性暴力などに直面する女性の自立に向けて公的支援を強化していくため、令和4年5月に、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立しました。このことについてあなたが特に土岐市で取り組む必要があると思うものを教えてください。（〇は3つまで）

1. 相談窓口間の連携など、分野横断的な仕組みづくり
2. SNSなどによる気軽に相談できる仕組みづくり
3. 専門的に支援できる女性相談員の配置
4. 弁護士や心理専門職等との連携の強化
5. 民間支援団体との連携による支援体制の強化
6. 相談を待つのではなく、訪問するなどして支援を届ける仕組みづくり（アウトリーチ）
7. 一時保護など、緊急時に対応できる体制づくり
8. 支援等に関する市民理解の促進
9. 同じ困難を抱える人同士の居場所やつながりづくり
10. その他（)

男女共同参画全般についてお聞きします。

問 37 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、土岐市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発
2. 男女共同参画社会の推進について、市民に意見を聞く機会を設けること
3. 男女共同参画のための活動拠点の充実
4. 専門の相談機関の充実
5. 審議会や各種委員会への女性の積極的な登用
6. 女性の雇用促進、女性の職業訓練の充実
7. 女性の学習の場の充実、女性のリーダーの養成
8. 保育施設や保育サービスなどの子育て支援の充実
9. 介護施設や介護サービスなどの福祉施策の充実
10. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職支援の充実
11. 地域で活躍する女性の人材育成
12. 学校教育における男女平等教育の浸透
13. 男女共同参画に取り組む民間の企業などに対し、表彰等を行うこと
14. 防災における男女共同参画の推進
15. DVやハラスメントなどの人権侵害行為の防止
16. その他 ()
17. わからない

問 38 日常で性別によって不平等を感じるのはどのような時ですか。具体的にご記入ください。

問 39 男女共同参画について感じることを自由にご記入ください。

長時間、調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

記入もれがないかももう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、差出人の欄は空欄のまま、切手を貼らずに9月26日(月)までにポストにご投函ください。